

器具機械 26 医療用遠心ちんでん器 汎用検査室用遠心機
36465000 一般医療機器

S1-EN-01 自動遠心ユニット

【警告】

- ・修理技術者以外による、分解・修理は行わないこと。
火災・感電・及び検体内の血液との接触による感染などの恐れがある。また、異常動作してけがをすることがある。
- ・当社の定める接続仕様に無い機器又はその他を接続しないこと。
動作不具合の原因となる。

【禁忌・禁止】

- ・万が一、使用中に検体を落下・飛散させた場合、当社メンテナンス員に連絡のこと。検体からの感染の恐れあり。

* 【形状・構造及び原理等】

1. 外観



2. 寸法・重量

遠心機 1200(W)x 730(D)x 1340(H) mm 434kg *

3. 原理

ロボットアームにより、遠心機コンベアより検体を遠心ローター部に移載し、遠心分離を行う。遠心終了後、ロボットアームが再度検体を自動で取り出し、搬送レーンに戻す。

【使用目的又は効果】

遠心力を応用して血液の成分を分離するために用いる汎用検査室用遠心機である。それは、電気駆動装置、その一部である垂直シャフト、垂直シャフト上部先端に取り付けられた水平ローターから構成される。本装置は血液を単独で遠心分離することを目的とする。

【品目仕様等】

1. 電源条件、消費電流
遠心機：単相 -
200-240VAC 20A, 1φ 50/60Hz
2. 処理能力
最大 300 本/時
3. 検体架設部
同時架設 最大 40 本
4. 最高回転速度
・ 100mm : 3100rpm (2000G)
・ 75mm : 3300rpm (2000G)

【操作方法又は使用方法】

1. 設置

検体搬送システムの一部として使用する場合、自動遠心ユニットの役目は、搬入ユニットへセットされた血液検体を、血清と血餅に分離することであるため、端末である制御用コンピュータからの制御指令および前段の搬入ユニットからの検体情報により、検体の搬入/遠心/搬出動作を行う。

2. 操作方法

単体での遠心動作が必要になった場合、及びエラーからの復旧時に単体動作を行う場合等は、遠心機に装備されている操作パネルによってマニュアル設定された検体の遠心処理を行うことが出来る。下記に操作手順を示す。

(動作開始条件)

- ① 遠心機本体を搬送コンベア下から引き出す
- ② 操作パネルから遠心機の外部カバーのロックを解除する。ドアを開ける。
- ③ 操作パネルから遠心部のドアロックを解除して、扉を開ける。
- ④ 遠心する検体をスイングブロックのホルダーに入れる。
このとき、ホルダーは4個あるが手前と、奥のスイングブロックのホルダーには対角線になるように均等に入れる。
- ⑤ 検体を入れ終わったら、遠心部の扉を閉じる。
- ⑥ 外部カバーの扉を閉じる。
- ⑦ 遠心機本体を搬送コンベア下へ戻す

(遠心機の操作)

メンテナンスモードにて単体遠心を実行する。
予め設定された回転数、回転時間で検体の遠心分離が行われる。

- ① 操作パネルから遠心機の外部カバーのロックを解除する。
ドアを開ける。
- ② 操作パネルから遠心部のドアロックを解除して、扉を開ける。
- ③ スイングブロックのホルダーから遠心済み検体を取り出す

(エラー表示について)

- ・エラー内容は操作パネルに表示される。

取扱説明書を必ずご覧下さい。

【使用上の注意】

1. 使用における注意

・運用時はユニットが振動するため上部に物を置くと落下の危険性がある。またユニット内部に物を置くと感電、漏電、ショートの原因となる。

・コンベアモーター及び可動部に触れるとけがをする恐れあり。

・運用中は扉を閉めること。作業を終えたら確実に扉を閉めること。運用中この扉を開け、手や物を入れるとけがや故障の原因となる。

・装置のカバーを外したまま、通常運用を行わないこと。

装置内部に手を入れたり、物を入れたりすると、感電・火災・けがの原因となる。

・ファンの前に物を置かないこと。ファンをふさぐ事により、ユニット内部の熱気が外部に逃げず、火災の原因となる。

2. 相互作用

併用注意

当社の定める接続仕様に無い機器又はその他を接続しないこと。動作不具合の原因となる。

*【保管方法及び有効期間等】

1. 設置条件

・装置に直射日光が当たらないこと。

・設置場所は振動が少なく、ほこりが少ないこと。

・高度 2000m以内であること*

2. 動作保証条件

・設置室の室内温度は18℃～30℃で、急激な温度変化が起こらないこと。

・設置室の湿度は40%RH～70%RHであること。

・電磁、静電誘導など電気的外乱がないこと。

3. 本機器の有効使用期間

据付、運用開始後5年とする。

4. 廃棄について

本製品を破棄する場合は、「感染性廃棄物」とし、必ず地方自治体の条例・規則に従い許可を得た特別管理産業廃棄物処理業者に破棄を依頼すること

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

下記点検内容を周期的に行うこと。清掃を行うときはゴム手袋を用いること。

(1) 清掃

・グリッパーの汚れ

・センサーの汚れ確認

・回転分離槽内の異物、落下物、汚れ確認

(2) 確認

ターンテーブルの亀裂が無き事

2. 当社メンテナンス技術者による保守点検事項

点検周期は契約により異なる。

内容は周期の如何に問わず下記項目を各部位対象に行う。

・動作チェック

・駆動部へのグリースアップ

・ターンテーブルの交換

・ベルト品質のチェック

・清掃

・亀裂、磨耗チェック

当社の保守業務は、厚生労働省令第135号（医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器の製造販売後安全管理の基準に関する省令）に準じた手順に従って実施し、記録を維持するものとする。

また上記以外に保守契約を結んでいない顧客については不具合発生時連絡を受け随時対応する。

【包装】

1. 梱包単位

・遠心機本体/箱

・コンベア/箱

2. 梱包材

エアキャップ、ストレッチフィルム（ポリエチレン）、ダンボール、マスキングテープ

※開梱は当社据付担当者が行う。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〒861-8038

熊本県 熊本市 東区 長嶺東 8-14-40

株式会社 アイディエス

電話番号：096-380-4225

取扱説明書を必ずご覧下さい。